哲学委員会（第24期・第5回）および合同分科会議事要旨

日時：平成30年11月23日（金）11時00分-12時00分

場所：日本学術会議 5-A（1）会議室

出席者：戸田山和久（委員長）、小林傳司（副委員長）、岡田真美子（幹事）、小田部胤久（幹事）藤原聖子、芦名定道、安藤泰至、石田美紀、香川知晶、葛西康德、梶原三恵子、熊野純彦、河野哲也、小島毅、佐野みどり、島菌進、武田宙也（スカイプ）、田坂さつき、土田健次郎、土井健司、中島隆博、納富信留、野家啓一、横山広美、吉水千鶴子、渡辺裕、八木久美子（オブザーバー）

議題・議事要旨

1. 哲学委員会からの報告

(1) 戸田山委員長から今年度哲学委員会の活動報告があった（SCJのHP公開議事要旨参照）

(2) 各分科会の委員長からの活動報告があった。

- ・芸術と文化環境分科会の佐野委員長から、アーカイブに関するフォーラムが3月に行われること、アーカイブと著作権に関する活動は次年度実施される予定であることが報告された
- ・古典精神と未来社会分科会の小島委員長から、11月10-11日実施の「古典フォーラム in 閑谷学校」（参加100名）、旅費凍結への対応、第2弾出版について報告された。
- ・いのちと心を考える分科会の田坂委員長から、8月22日実施の分科会・講演会、学会連携のゲノム編集に関する議論、科研費申請、「提言」提出計画、サイエンスカフェ・哲学カフェの企画、教材用ビデオの作成普及計画について報告された。
- ・哲学・倫理・宗教教育分科会の河野委員長から、11月10日開催のサイエンスアゴラ（参加120名）、同日分科会で道徳の教科化に関するシンポジウム開催について議論した旨報告された。
- ・JFPSについて、野家委員から、2023年WCPはメルボルンに決まり、東京招致はなくなったこと、納富委員がFISPの運営委員に当選したことが報告された。

3. 今後の活動について意見交換をおこなった

➤ 旅費凍結問題に関して議論した

戸田山委員長、藤原第一部副部長から、財務委員会が発足したことが報告され、意見が出た。

- ・早いもの順に予算執行されるのではなく予算執行ルールを作る。
 - ・全体としての年度計画をたてる。
 - ・地域と連携した企画の実施に対する配慮を求める。
 - ・旅費凍結は、地方の連携会員を増やすという方針と矛盾している。
- ##### ➤ 大型研究マスタープランについて
- ・予算規模は理系より小さくても計画を継続して提出する
 - ・SDGsとSociety5.0に関連づけることが予算要求の時は常識になっている。その際には人文学の知識が必要であるとされていることを活用するといいいのではないかと。
- ##### ➤ WCP東京招致について
- ・世界哲学構築のための分科会の納富委員長から、2023年大会はメルボルンで開催されることになったが、その次に再度開催地に立候補する可能性が高いことを留意してほしい。

以上